

わたしの 妊娠報告書

記載日 2020年 4月10日

おめでた宣言日	2020年 2月
年齢 (39) 歳	平成 (27) 年 (12) 月 結婚
私は (体外受精 採卵2回 初植1回)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(/) 年 (10) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング、人工受精 6回)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

治療が長期になればなる程、精神的にしんどい。
 上の子が家に居たので、子育てしながらも周期、薬、注射
 等々があり、どちらか中心にしなければならず、1人もか
 いた気がしませんでした。あえて、普段通り、あまり意識せ
 ず、そう思っていました。(まあ、無理なんでもか...) なので、あ
 えて食生活も気にせず、いつも通り食べたいものをのみ
 を食し、サボリ等もありませんでした。
 1つあるとすれば、冷え性なので、足元は常にあったか
 しょうとは、心掛けていました。(冬期のため)

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

卵巣年齢が高く、採卵にかかると自己注射も、効果がみられないうつと Dr の言葉で、高額出して、痛い思いして、卵増えなければ、意味ないなど 投薬のみでの採卵をして、1回目、3個とれたものの、マシン失敗。翌月、少しの可能性にかけ、自己注射をした採卵。6個とれ、胚盤肥まで育ててくれた1個。その卵が1回目の移植でなんとか着床してくれて、妊娠にいたることができました。

その他 (通院・治療費・家族など)

上の子(2才)を連れての受診がやはりしんどいところから、頼めるのに苦労しました。(しかも待ち時間が長いので) 高額な治療費がみるみるわかり、気が付けば莫大な事に... いままでやるか、時期と何回までするかの回数も、夫婦で決めました。年齢的なこともあり、いまでもはつたけられないうつと 思っていました。

治療中の方へのアドバイス

私は2人目不妊でしたから、2年近く治療をし、先もみえず、でも、どうしても授かりたいと強く思っていました。やはり治療は女性本人が一番辛い。と今までいって、この気持ちには共有できなかったと思います。(夫や親、今でもそう思っています) でも、協力してくれているのも事実です。なので感謝し、今は喜びを共有しています。何より心強く支えになったのは友達と存在でした。スタッフへのご意見などたまにしか会えなくても、会うとストレス発散、心のリセットでき、やはり一生の主婦なと思っています。